

個人情報の保護に関する指針

当院は、利用者様とその全ご家族および代理人がいる場合は、その代理人様（以下利用者様等）の個人情報について、個人情報保護に関する法令を遵守し、かつ自主的なルールおよび体制を確立し、すべての従業員が個人情報の保護に努める。

1 使用する目的

- ① サービス担当者会議等において他のサービス事業者等と情報を共有・連携し、介護保険法に関する法令等に基づき行う居宅サービス・利用者支援を、**適切かつ効果的に実施、提供**するため。
- ② 緊急時等において、**利用者の生命やその他有する権利・利益を保護**するため。

2 使用にあたっての条件

- ① 個人情報の使用は、1に記載する目的の範囲内で**必要最小限**にとどめ、情報提供が必要となる相手方以外には決して漏れることのないよう細心の注意を払う。
- ② 個人情報を使用した**状況、相手、内容等の記録を保管**する。

3 保管および安全性

- ① 個人情報を含む物は、第三者の目に触れないよう、セキュリティーについても考慮し、**厳重に保管**する。
- ② 個人情報の保護研修を、年に1回従業員に行う。
- ③ 退職後であっても勤務で知り得た個人情報を、漏洩しないように、従業員に指導する。

4 個人情報の内容（例示）

- ① 氏名、住所、健康状態、病歴、家庭状況等、事業者がサービスを提供するために最小限必要な利用者様等に関する情報。
- ② その他の情報
※「個人情報」とは、利用者個人及び家族に関する情報であって、特定の個人が識別され、又は識別され得るもの。

※この指針は、2019年6月より定める

※この指針は、2023年11月改訂